

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 合同部活動の推進に向けた実証事業 成果報告書（概要）

京都府福知山市

●地域における現状・課題

- 市立中学校9校において、2～10種目の運動部活動を実施。内、3校が2種目のみであり、本市の全生徒が希望する運動部活動に入部できていない現状があり、少子化により今後さらに部活動の存続が難しくなる中で、青年前期（中学生）のスポーツ活動が十分に確保できていない状況がある。
- 子育て等で休日の部活動に負担感を持つ教員や、未経験種目の顧問として指導をする教員が4割以上あり、技術指導等が難しいと感じている現状がある。

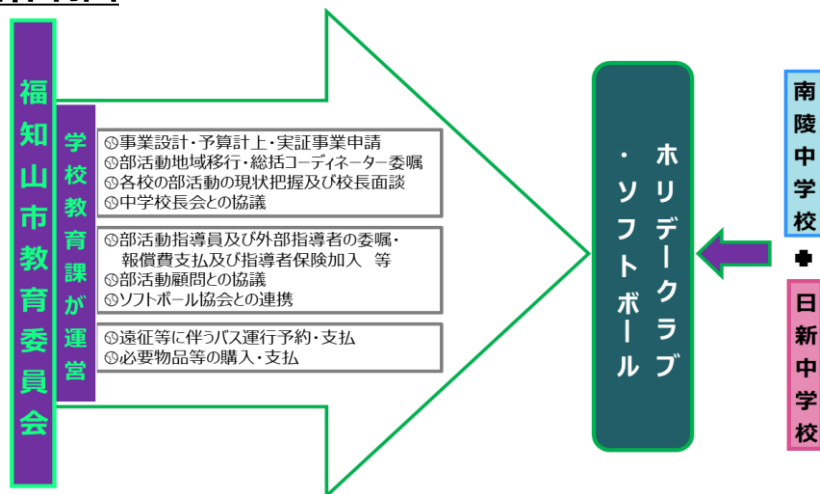
●取組事項の概要

- 福知山市部活動改革検討会議の設置（年間5回開催）及び部活動地域移行・総括コーディネーターを2名配置し、本市の部活動の地域移行を進める体制整備を行う。
- 南陵、日新中学校ソフトボール部において、休日のみ【ホリデークラブ・ソフトボール】として令和5年10月14日（土）から合同部活動を開始する。

●取組の成果、特に工夫した点等

- 対象者へのアンケートの結果、生徒の88%が活動に対して満足している、保護者の90%が子どもたちが満足していると回答。
- 練習内容の更なる充実を図るため、市内の高等学校や小学生との合同練習や、他の市町、府外の中学校まで遠征をして練習試合や交流試合を実施した。また、その際遠方への移動手段として、スクールバスの特別運行や市所有の大型バスを活用した。

●運営体制図



●ホリデークラブ（合同部活動）の概要

- （1）運営類型：市町村運営型（地域団体・人材活用型）
- （2）運営主体：福知山市教育委員会（担当：学校教育課）
- （3）種目：ソフトボール（女子）
- （4）指導者の主な属性：中学校非常勤講師・定数内事務職員
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：週1回
- （6）主な活動場所：南陵中学校グラウンド
- （7）主な移動手段：徒歩・保護者送迎
- （8）1人あたりの参加会費等（年額）：参加者負担なし
- （9）1人あたりの保険料
 - ：生徒：日本スポーツ振興センター「災害共済給付」対象
 - ：指導者1,850円/人＋システム使用料44円/回